

教材教具名	「数の学習」	教科（ 数学 ）	
-------	--------	----------	--

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 数の概念をつける。色の理解を高める。
- 2 発達段階など III 操作することを通して数や量を認識する時期（2）
- 3 使い方  
数字カードのシールを貼ってある部分に、同じ色の洗濯ばさみを対応させてとめていく。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

○対称性とは、数や色について、本人なりのイメージを持ちつつあるが、概念形成までには至っていない。そのために実際に手を使って活動したり、活動の成果を目で確かめたりすることができる教材を用意した。

○配慮点

- ・色（赤・青・黄色）のシールを貼ったカードを見て、同じ色の文字が書かれたケースを選ぶ。（できれば、文字は黒に統一していきたい）
- ・1から5までの序列（数の増加）を意識させるため、1から5順番にカードを渡す。
- ・適当にとめるのではなく、上から順番に丸いシールの上に対応させてとめるようにさせる。
- ・シールに対応してとめていくことで、ケースの中の洗濯ばさみが余るということを理解できるようにしたい。

○定時の仕方を限定する、自由にする、洗濯ばさみの数を対応して渡す、一度に大量を渡すなど、変化をつけることで、個々の段階に応じた学習ができる。

○色を組み合わせることで、変化をつけることができた。